

本当に知るべきこと

2014/3/9

シリーズ～コロサイの信徒への手紙～

コロサイの信徒への手紙1章9節

「こういうわけで、私たちはそのことを聞いた日から、絶えずあなたがたのために祈り求めています。どうか、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころに関する真の知識に満たされますように。」

＜新改訳＞

使徒パウロが祈り求めていること

- ▶ パウロは「神のみこころに関する真の知識に満たされ」るように、「絶えず」祈り求めている
 - ▶ 私たちにとっても、最も大切な事柄
- ▶ 私たちはいつも何を祈り求めているか？
 - ▶ 健康・安全・成功・平穏無事・・・
- ▶ 神のみこころを知ることを求めているか？
 - ▶ 自分の願い(みこころ)を神に知らせることに一生懸命ではないか？
 - ▶ 神が私に何を願っておられるか考える事はあるか？



神のみこころ(願い)とは

▶ すべての人々が救われること

- ▶ 「神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。」Iテモテ 2:4

▶ 救われた人々が成長すること

- ▶ 「ついには、わたしたちは皆、…成熟した人間になり、キリストの満ちあふれる豊かさになるまで成長するのです。」エフェソ4:13

▶ それらの目的をそれぞれの人生において実現するために、神は働いておられる

- ▶ 旧約聖書の出来事は最高の見本
-



選択・禁止・待機・実行

▶ “どちらを選ぶか(選択)”

- ▶ 何を食べる,どこへ行く,誰と結婚する,どの仕事に就く,などといったことに「みこころ」を持ち出さない!

▶ “すべきではない(禁止)”

- ▶ すべきでない,やめるべきことがたくさんある

▶ “今はその時ではない(待機)”

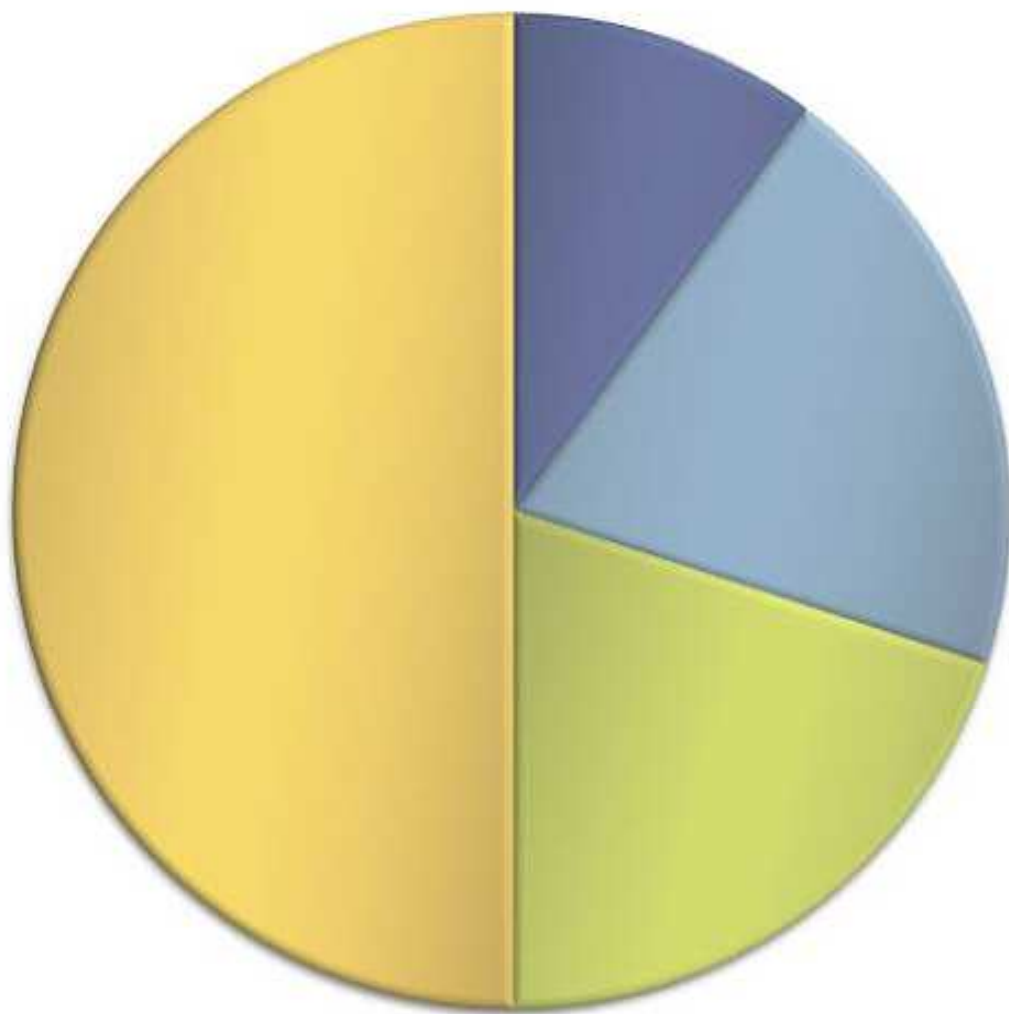
- ▶ 「神の時」(カイロス)がある

▶ “行いなさい(実行)”

- ▶ 一番大切な「みこころ」である
-



みこころの割合？



■ 選択

■ 禁止

■ 待機

■ 実行

知らなくても良い事が多すぎる時代

▶ 情報が溢れている時代

- ▶ 人類の歴史の中で、もっとも多くの方法で、もっとも多くの情報が「垂れ流され」ている

▶ 受動的に情報にさらされている

- ▶ 知らず知らずのうちに洗脳される

▶ ほとんどの情報は歪められている

- ▶ マスメディアは「金儲け」の手段となってしまった

▶ 本当に知るべきことを得るのは簡単ではない

- ▶ 正しい情報を判断する事の難しさ



聖霊の知恵と理解力

▶ 神が備えられた助け,「聖霊」

- ▶ 「あらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころに関する真の知識に満たされますように。」
- ▶ 「その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。」

ヨハネ福音書16:13

▶ 「知識」を選別するための「知恵(英知)」

- ▶ “ソフィア”: 真の知識を見極める洞察力

▶ 「知識」を適応させるための「理解力」

- ▶ “スネセイ”: 自分の事として当てはめる力



真の知識に満たされる

- ▶ **間違った教えに揺さぶられていたコロサイ教会**
 - ▶ 「わたしがこう言うのは、あなたがたが巧みな議論にだまされないようにするためです。」2:4
- ▶ **サタンは「偽の情報」を用いてつまづかせる**
 - ▶ 蛇は女に言った。「決して死ぬことはない。それを食べると、目が開け、**神のように善悪を知るものとなる**ことを神はご存じなのだ。」創世記3:4～5
- ▶ **単に知るだけではなく「満たされる」ほどに**
 - ▶ パウロの祈りの最初の言葉は「満たされる」
 - ▶ 神のみこころに関する真の知識に満たされよう!

